

平成28年度農林水産省
「植物品種等海外流出防止
緊急対策事業」

米国における 植物品種保護出願マニュアル

平成29年3月

公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会（JATAFF）

はしがき

我が国で育成された優良な品種は、日本の農産物の強みの一つであり、海外市場でも高い評価を得ています。一方、近年優良な品種が無許諾のまま他国に持ち出され、生産されている事例が少なくありません。しかしながら、これまで一部の民間企業を除き海外で権利取得をしていなかったため、海外での無許諾生産を差し止めることができない事態となっていました。このような事態を招いている要因としては、主として海外での権利取得の方法が浸透していなかったこと、権利取得のための費用の問題が挙げられます。

そこで、平成28年度の補正予算で措置された植物品種等海外流出防止緊急対策事業では、権利取得のための費用の支援とともに、海外での権利取得についてのマニュアルの作成を行うことになりました。

マニュアルは、実際に対象国を訪問して関係当局への聴き取り調査や資料収集を行い、得られた情報をもとに作成しました。調査にご協力いただいた関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。

なお、法律の翻訳については、専門家の校閲を受けたものではありませんのでご承知おき下さい。また時間的な制約から、お届けしたマニュアルについては不十分な点もあるかと思います。さらに今後新たな情報が入れば手直しも必要になってくるかと思います。これらについては、最新のものを入手次第当協会のホームページで閲覧できるように考えておりますので、そちらもご利用下さい。

本マニュアルが海外での権利取得の促進に寄与することを期待しております。

公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会
理事長 吉田 岳志

目 次

	頁
第 1 米国における植物新品種保護制度の概要	1
1 沿革	1
2 米国の植物新品種保護制度の概要	1
2-1 特許法の「植物特許」による保護	1
2-1-1 法令	1
2-1-2 保護対象	2
2-1-3 わが国の制度と異なる点	2
2-2 植物品種保護法による保護	3
第 2 米国における品種保護出願から登録に至る流れ	7
1 植物特許の出願から登録に至る流れ	7
2 植物品種保護の出願から登録に至る流れ	7
別添 1 植物特許出願手続きマニュアル	9
別添 2 植物特許出願の概要	2 4
別添 3 植物特許の出願データシート	3 4
別添 4 植物品種保護制度について	3 7
別添 5 植物品種保護の出願書について	4 4
別添 6 代理人からの聴き取り調査	4 9
添付資料	
1 アメリカ合衆国植物品種保護法（仮訳）	5 1
2 米国特許商標庁プレゼン資料①米国における植物の特許保護	8 1
3 米国特許商標庁プレゼン資料②植物特許出願手続き	9 5
4 法律事務所 Cooley 社プレゼン資料 「IP Strategies for Protecting Important Plant Germplasm」	1 0 9
5 法律事務所プレゼン資料「Westerman Hattori Daniels & Adrian, LLP」	1 2 5
6 植物特許出願登録の実例	
6-1 ロードデンドロン “Oryu”	1 4 1
6-2 ブドウ “IFG Nine”	1 4 7